



ツアー「庭をめぐる旅」3月18日(日) 2012年 *こちらは追加日程です。

講師: 進士五十八 (造園家・東京農業大学名誉教授)

「農の庭」柳沢吉保の里・三富を体験する

1658~1714

東京駒込の六義園を営んだ柳沢吉保は、川越藩主になったとき荻生徂徠(おぎゅう そらい)の建議を容れ、現在の所沢市、三芳町にまたがる約3200ha(町歩)の三富開発をおこなっている。北宋の王安石の説を参考にしたという間口40間、奥行375間の短冊状の敷地(5町歩)を1戸の農家の所有とし、農家・屋敷林・農地・防風林(落ち葉かき、薪炭林、雑木の萌葉更新)がワンセットの循環農法の計画農村である。川越イモや有機野菜の農業の持続のみならず、開拓農民の連帯と拠り所の多福寺や毘沙門社も新田開発と同時の元禄9(1696)年に落成させている。

ここに大津波以後の自然共生時代の生き方の知恵を学びたいものだ。

里地里山と人間のくらしの原型を「江戸農法の会」の横山進さんから聞いたり、野菜の収穫体験。農家の庭の環境デザインからの合理性、三富農業の土地利用計画の知恵をフィールドに訪ね、「農のにわ」というものの壮大なスケールを味わって下さい。三富は、世界に誇る日本人の計画した農村で、関東地方の典型的な郷土景観、文化的景観、私たち日本人の原風景です。

3月18日(日)

現地集合) 13:00 航空公園駅(西武鉄道新宿線)

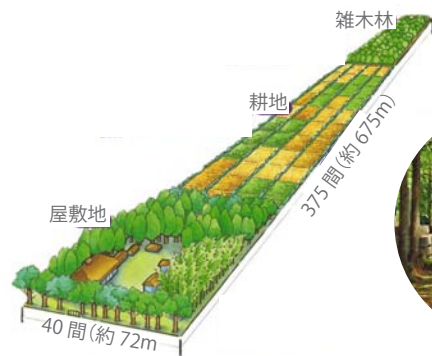
現地解散) 18:00 予定

横山農園にて 野菜の収穫体験。

& 落ち葉かき、焼きイモ大会 (こちらは天気が悪い場合は難しいです)。

多福寺 / 鎮守毘沙門堂(別当 多間院)

旧島田家住宅 など予定。



短冊型農村



鎮守毘沙門堂



雑木林



江戸時代に開拓された「三富新田」は、農地を中心に平地林の織りなす武蔵野の景観が広がっており、三富新田の特徴である、短冊上に区画した地割りを今も見る事ができる。

お問合せ: ワタリウム美術館 Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714

Email: official@watarium.co.jp

※見学地が変更する場合がございます。

庭をめぐる旅 申込書

3月18日(日)
農の庭

申込方法: ご参加希望の方は、下記に御記入頂き、Fax: 03-3405-7714 へお送り下さい。ご予約はご入金をもって完了とさせていただきます。ご入金後、期日までに、ご案内をお送りします。 定員: 32人 (定員になり次第〆切)

振込先: 三井住友銀行 青山支店(普)1033281(名義)ワタリウム美術館

お申込後は、取消料が発生します。①1ヶ月前まで: 10% ②1ヶ月前~7日前: 20% ③6日前~2日前: 50% ④前日および当日: 100%

お名前(ふりがな)	会員 no.	参加費(3/18)	5,000円 <input type="checkbox"/>
ご住所 〒		サポート会員参加費	2,500円 <input type="checkbox"/>
Tel:	Fax:	artpass 会員参加費	4,000円 <input type="checkbox"/>
携帯番号:	Email:	お支払い	円
ご職業:	男・女 年齢 才		